



仕掛ける、未来。

クリエイティビティで、 地域の新たな未来を仕掛けていく。

中国四国博報堂が仕掛ける未来。

それは従来の広告ビジネスの領域に留まりません。

経営・事業レイヤーから社会 이슈まで、

広告ビジネスの枠組みを超えた幅広い業務領域で

クライアントの課題をオーダーメイドで解決していきます。

その原動力は、様々な能力や性格を持つ「粒ちがい」の社員たち。

多様な個性がひとつのチームとなり、生活者のインサイトを捉えた発想と、

アイデアとアイデアの化学反応が生むクリエイティビティで

まだ誰も見たことのないソリューションをつくり出します。

そして全社員が職種の領域を超えて地域ビジネスにコミットする

「地域ビジネスプロデューサー」として、

中国四国でともに邁進するクライアントのパートナーになり

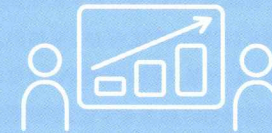
ローカルの未来をつくる戦略を仕掛けていきます。

ひとりひとりが、未来への仕掛け人。

「生活者発想」と「パートナー主義」で地域の未来をつくる、

私たちは中国四国博報堂です。

マーケティング



様々なタッチポイントを駆使したアプローチと膨大な顧客データの活用で、クライアントのマーケティングを進化させます。

クリエイティブ



徹底した生活者発想で心を動かし、価値を共有し、購買行動を誘発するコミュニケーション活動全体を設計・実践します。

プロモーション アクティベーション



店頭や展示会、イベント・ショールームなど様々な場において、生活者を購買行動からファン化させるまでの施策を提供します。

デジタル



マーケティング・クリエイティブ・プロモーションといった統合的なデジタルソリューションでクライアントの課題を解決します。

業務領域

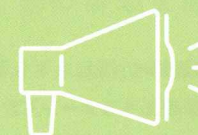
あらゆる領域の専門チームが
オーダーメイドでお応えします。

コンサルティング



クライアントの経営・マーケティング課題をアイデアで解決し、企業や市場の成長をリードする新たな事業やサービスを切り拓きます。

PR



企業価値を確立するための統合的な広報戦略や経営トップの発信力、SNSなどのメディアを立体的に活用した広報活動を支援します。

メディア&コンテンツ



マスメディアおよびコンテンツビジネスによって新しいメディア価値を創造し、コミュニケーション効果を最大化するサービスを提案します。

リサーチ



生活者をマーケティング・パートナーと捉え、課題解決を達成するためのイノベーションを促すリサーチ・分析を行います。

仕掛ける人たち

中国四国博報堂のチーム力を生み出す「個」のチカラが、地域の新たな未来を仕掛けています。

自分の「好き」から
仕事を生み出し、
ワクワクする未来をつくる。

入社以来営業一筋で、様々なクライアントと共にパートナーとして仕事をしてきました。「売上を稼ぐ前に、クライアントの信用を稼ぐ。」を念頭に置き、担当するクライアントのことは社内の誰よりも理解することに努めています。同じように大切にしていることは、自分が「好き」と感じるモノやコトを持ち続けること。自分自身が面白いと思えることから自由に発想することで、ワクワクする仕事を生み出すことができ、地域の未来をもっと明るくできると考えています。

広島本社 統合ビジネス局 第1営業部
山本 航平



メディアプランを設計して、
瀬戸内エリアの未来を
設計する。

私の所属している媒体部には、クリエイターが制作した生活者のココロを動かす広告が、毎日のように送られてきます。しかし、どれだけ良いクリエイティブでも、生活者の目に触れないと意味を成しません。クライアントの広告コミュニケーション効果を最大化するために、博報堂グループの持つ膨大なデータベースやナレッジを活用して、ターゲットの生活スタイルとマッチするメディアプランを緻密に設計。新聞やテレビ、ラジオなどのメディアを通じて瀬戸内エリアを盛り上げられるこの仕事に、とてもやりがいを感じています。

広島本社 媒体部
森 ふみ



広告業界も地域も、
変革期を迎えているからこそ、
柔軟な発想が未来を創る。

自分自身のキャリアアップと共に、「地域へコミットする仕事がしたい」という想いを叶えるために入社しました。この会社で働く魅力は、発想をカタチにして、瀬戸内エリアをアップデートできることに他なりません。そのために大切なのは、誰よりもクライアントのことを考えること。営業としてクライアントと共に考え創っていきける「共創関係」を築き、従来型の広告ビジネスに限定することなく新たなマネタイズの仕組みをつくり出すために、自由に発想し、新しいビジネススキームをデザインすることを考えています。

高松支社 営業部
木原 浩貴



これからの広告会社は、
「新しい価値を生み出す会社」
だと思う。

地元香川のグラフィックプロダクションでデザイナーとして働いた後、広告コミュニケーションのもっと広い領域に関わりたくてこの会社に入りました。クライアントの商品やサービスが売れるために、クライアントを愛し、課題に向き合い、クリエイティブの企画から新しいビジネスモデルの開発まで、「新しい価値」を生み出すためにとことんまで考え抜く。そうした過程を経て制作したTVCMが評価され、「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」で地域ファイナリストを獲得できたことは、クリエイターとして大きな自信につながりました。

高松支社 マーケットデザイン室
木村 由香



地域に根ざす
広告会社だからこそ、
地域の魅力を最大化できる。

入社当初より所属してきた営業セクションから、広告ビジネスの新たな領域へチャレンジするメディアコンテンツビジネス部へ配属となりました。クライアントの課題を本質的に解決するため、従来型の広告ビジネスの枠組みに留まらず、事業領域まで踏み込んだコンサルティングができることが、この会社で働くいちばんの魅力です。これからは「地域創生型アイドル」であるSTU48などの、瀬戸内ならではのコンテンツを通じて、地域がもつ魅力を発信し続けたいと思います。

広島本社 メディアコンテンツビジネス部
嶽本 梨紗



「地域の個性を磨くべき時代」を、
クリエイティブで
勢いづける。

デザイナーとしての経験を活かし、さらなるステップアップのために東京からUターン入社。「クライアントと対峙するのではなく、クライアントと一緒に未来と対峙する。」を信条に、クライアントがもつ課題の本質を見極め、最適な表現をアウトプットしています。その中で目標としているのは、毎回何かひとつ新しい表現や手法にトライすること。変化を恐れずチャレンジすることで、クライアントと共に地域の未来をつくることができ、自分自身もまた、違う世界を見ることができると信じています。

広島本社 マーケットデザイン室
久保 雄司



博報堂グループの
スペシャリストを総動員して、
地域企業の課題を解決する。

クリエイティブな世界への憧れと、地元である中四国というフィールドで活躍したいという思いから入社。新卒から4年間は広島本社で勤務していました。岡山支社へ転勤して新規開拓を目指す中、クライアントの課題解決のため広島や博報堂グループのスタッフとチームを組んで最適なソリューションを提案。その結果、競合案件を獲得できたときの達成感はとても大きなものでした。これからは「地域ビジネスプロデューサー」として、クライアントと共に地域に貢献するという心掛け、瀬戸内の未来をつくっていききたいと思っています。

岡山支社 営業部
中原 優



「半歩先をいく」
を積み重ねて、
大きな進歩につなげていく。

生まれ育った瀬戸内をもっとPRしたいと思い、東京からUターン入社しました。常に「半歩先をいく」という姿勢を心がけ、クライアントとのふとした会話の中から新たな課題を見つけて、自主提案。「そんな提案が欲しかった」と結果につながったときは、何物にも代え難いやりがいを得ることができます。「橋本だから任せたい」と思われるような仕事のプロデューサーや関係性の構築が、クライアントの発展はもちろん、自分自身を成長させることができると感じています。

愛媛支社 営業部
橋本 純一

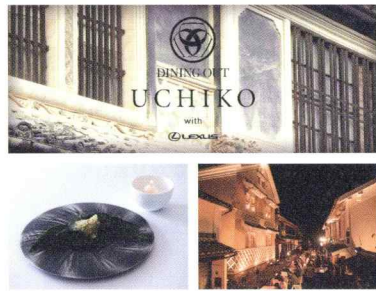


会社実績

中国四国博報堂の手がけるソリューションの一部をご紹介します。

DINING OUT

食を通じて、地域に残された自然・文化・歴史・地産物等を再発掘・再編集し、世の中に効果的に発信するための新しい“地域の表現フォーマット”「DINING OUT」。一流シェフの地域表現としての料理と、趣向を凝らした地域体験の演出で非日常的な野外レストランを創出。地域をプレミアムに魅せるコンテンツ制作とメディアを使った戦略的な情報発信も行い、地域の新たな表現を実現します。



四国一周サイクリング

広島・愛媛両県にまたがる「しまなみ海道サイクリングロード」で高まった関心を、四国全域へ広げる「四国一周サイクリング事業」。四国一周サイクリングのサイクリングルート開発から携わり、誘客プロモーションや広報・PRなど多岐にわたってプロデュースしています。



緑の伝言プロジェクト

爆心地から概ね2kmで被爆し再び芽吹いた約170万本の木々たちを広島市では「被爆樹」として登録。保存活動を行っています。弊社では被爆60年を機に2005年、中国新聞と協働で広告企画「緑の伝言プロジェクト」を開始。今なお現存する「被爆樹木」を毎年8月6日付朝刊の全ページ広告で紹介。その協賛金の一部を広島市市民局国際平和推進部に寄付しています。



カープファン感謝デー

1975年から続く選手・監督とファンをつなぐ、年に一度の交流イベント。球場には毎年多くのファンが訪れ、選手とのサイン会や撮影会、キャッチボールなどを楽しむファンで大きな賑わいを生んでいます。弊社では1975年のカープファン感謝デーの立ち上げ当初から、イベントの企画運営・実施を行っています。



会社概要

株式会社 中国四国博報堂

ChugokuShikoku Hakuhodo Incorporated

沿革 2003年4月1日 (株)中国博報堂設立、(株)四国博報堂設立。
2013年7月1日 (株)中国博報堂と(株)四国博報堂を統合し、(株)中国四国博報堂を設立。

資本金 4億5000万円

代表取締役社長 池田 繁実

本社 〒730-0051 広島市中区大手町3-7-5 広島パークビル5階
TEL:082-248-0401
www.chugokushikoku.hakuhodo.co.jp

広島本社

〒730-0051
広島市中区大手町3-7-5
広島パークビル5階
TEL:082-248-0401

岡山支社

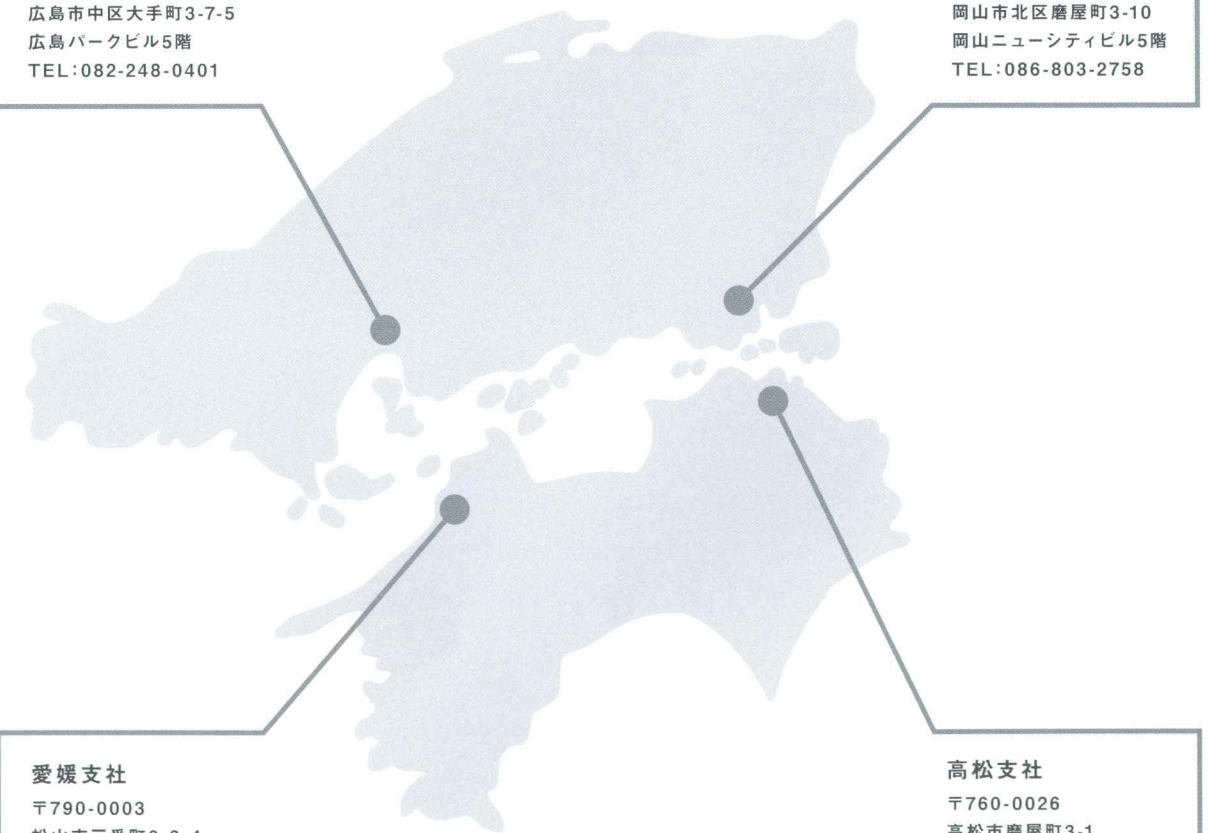
〒700-0826
岡山市北区磨屋町3-10
岡山ニューシティビル5階
TEL:086-803-2758

愛媛支社

〒790-0003
松山市三番町6-3-4
松山バルビル2階
TEL:089-932-5821

高松支社

〒760-0026
高松市磨屋町3-1
合田不動産磨屋町ビル9階
TEL:087-851-6111





■
■ **HAKUHODO**
中国四国博報堂